

王と鳥 (1980)

LE ROI ET L'OISEAU

メディア 映画 アニメ

ジャンル ファンタジー ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 87分

初公開日 2006/07/29

公開情報 クロックワークス

【キャッチコピー】

気をつけたまえ。

この国は今、罨だらけだからな。

【解説】

フランス初の長編アニメーション映画として制作されたものの、1952年、ポール・グリモー監督の意に添わぬ形でプロデューサーが無理やり完成させ公開された「やぶにらみの暴君」。日く付きではあったものの、作品は世界中で高い評価を受け、多くのアニメーション作家たちに多大な影響を与えた。日本でも55年に公開されるや絶賛を浴び、後にアニメの道に進む若き高畑勲、宮崎駿の2人もこの作品の虜になったという。本作は、そんな不本意な内容となってしまった「やぶにらみの暴君」を、グリモー監督自らが作品の権利とネガフィルムを買い取り、当初の希望通りの内容へと大幅に変更を加えて作り直し、79年によくやく完成させた執念の一作。日本では80年代に「王様と幸運の鳥」というタイトルでビデオが発売され、90年代後半に「王と鳥」のタイトルでDVDが発売されている。そして2006年、スタジオジブリ提供により本邦初となる劇場公開が実現。

広大なタキカルディ王国。天高くそびえた宮殿の最上階にある秘密の部屋。そこに飾られた3枚の肖像画。美しい羊飼いの娘と煙突掃除の青年、そして孤独な王。娘と青年は、2人の仲を引き裂こうとする王から逃れるため、絵の中から抜け出してしまう。それを許さんと、2人を追って肖像画の王も絵から飛び出してくる。一方、娘と青年は一羽の鳥に案内されて、迷路のような複雑な階段を駆け降りていく…。

【クレジット】

監督	ポール・グリモー	Paul Grimault	
原作	アンデルセン	Andersen	『羊飼いの娘と煙突掃除人』
脚本	ジャック・プレヴェール	Jacques Prevert	
	ポール・グリモー	Paul Grimault	
台詞	ジャック・プレヴェール	Jacques Prevert	
音楽	ヴォイチェフ・キラール	Wojciech Kilar	
	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma	
声の出演	パスカル・マゾッティ	Pascal Mazzotti	王
	ジャン・マルタン	Jean Martin	鳥
	レイモン・ビュシエール	Raymond Bussieres	警官長
	アニエス・ヴィアラ	Agnes Viala	羊飼いの娘
	ルノー・マルクス	Renaud Marx	煙突掃除人
	ユベール・デシャン	Hubert Deschamps	助言者

ロジェ・ブラン	Roger Blin	盲人
フィリップ・デレーズ	Philippe Derrez	エレベーター係／スピーカーの 声
アルベール・メディナ	Albert Medina	猛獣使い
クロード・ピエプリュ	Claude Pieplu	宮殿の市長